

ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター
Fujimino International Cultural Exchange Center

2025年5月号(年3回発行) 第168号

10年後も外国人に寄り添えるFICECを目指そう

ふじみの国際交流センター(以下、FICEC)は6月1日に第28回通常総会を開催し、向こう1年間の事業計画と役員体制を決定します。FICECは2000年1月に特定非営利活動法人の認証を受け、以来25年間にわたりふじみ野市・富士見市・三芳町で外国人支援に取り組んできました。外国人からの相談は、二市一町だけではなく近隣の市町、さいたま市や坂戸市などからもあり、FICECの生活相談事業は埼玉県において大きな役割を果たしてきました。

その結果、FICECの活動は国や県からも評価され、2007年に地域づくり総務大臣彰、2013年に外務大臣表彰、2023年には埼玉グローバル賞を受賞しました。

丘亜蘭さんのご逝去を悼みます。

FICECの実績は、一番にはスタッフやボランティア、翻訳などの協力者の皆さんの努力の結果です。そして活動を支えていたのが会費や寄付金ですが、長きにわたり大口の寄付を頂いたのが丘亜蘭さんでした。改めて丘亜蘭さんのご厚志に感謝しご冥福をお祈りいたします。

この25年間で外国人の状況は大きく変わりました。

FICECが誕生した5年後の2005年、ふじみ野市の人口は101,960人でした。その時外国人の数は753人でした。20年後の2025年1月1日、ふじみ野市の人口は114,559人で11.3%増加しました。一方外国人は3,669人となり20年間で約5倍に増加しています。最近ではネパールやベトナムからの入国者が増加し、多くの在留資格は家族滞在のため生活相談は、就学・進学、労働、住宅、医療など多岐にわたっています。

昨年4月からの一年間の実績は、生活相談513件、日本語教室参加者延べ750人、国際子どもクラブには延べ850人が参加しました。FICECの役割はますます高まっていますが、FICECの事業スペース、マンパワーはギリギリの数字だともいえます。

25年間の経験を活かし、新たな10年間の一步を一緒に歩みたいと思います。会員各位のご協力をお願いします。

(副理事長・事務局長 永田信雄)

埼玉県指定・認定非営利活動法人ふじみの国際交流センター
第28回通常総会のご案内

2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)

○開催日時 6月1日(日) 13時30分～

○開催場所 ふじみ野市西公民館2F 集会室
ふじみ野市上福岡5丁目2-12



国際子どもクラブの子どもたち

進 洗子

国際子どもクラブには、小学生、中学生、高校生が来ます。ルーツのある国は、中国、フィリピン、ネパール、ベトナム、パキスタンなどです。多いのは小学生です。一人でくる子、兄弟でくる子、いとこ同士や友だちとくる子もいます。日本に来たばかりの子どもはもちろん日本語を勉強します。日本で生まれたり、日本に長くいて日本語を不自由なく話す子どもたちは教科の勉強をしにきます。宿題も持ってきます。漢字に取り組む子、算数、数学の問題に取り組む子が多いです。子どもたちは本当に早く日本

語が話せるようになります。しかし読んだり、書いたりとはなかなか困難です。

勉強が終わるとお絵描きをしたり、パズルや迷路、折り紙、塗り絵、ゲーム、トランプやウノ、オセロなどで遊んで帰る子が多いです。

勉強しているときや勉強が終わった後、ボランティアさんとたのしげに話をしている声も聞かれます。子どもたちとのそんなおしゃべりが聞こえたのでメモにとってもらいました。そのメモを紹介します。



ネパールの男の子 4月から5年生。日本に来て8か月ほどです。

◎食べ物は何が好き？・・・

果物が好き。日本のミカンが甘い。ネパールのは甘くない。マンゴーは、ネパールではおいしい。日本ではまだ食べてない。沖縄でマンゴーを食べたい。

◎好きなスポーツは何？・・・

サッカーで、キーパーが好き。

◎ネパールの小学校はどうだった？・・・

楽しかった。友だちがたくさんいた。

◎日本の小学校はどう？・・・

楽しい。休み時間、毎日サッカーしている。

◎給食はおいしい？・・・

ネパールは自分で持っていく。日本ではうどんがおいしかった。ミカンのゼリーもおいしかった。

◎日本語はどう？・・・

日本語、覚えるのが楽しい。

◎学校で好きな勉強は？・・・

体育が大好き。理科も大好き。

※今日は、勉強が終わったら遊ばないで急ぐように帰りました。学校の友達と遊ぶ約束をしたそうです。





中国の女子 4月に中学生になりました。日本にきて1年と2か月半です。



◎中国の学校はどうだった？…

まあ、楽しかった。

◎日本の学校は？…

まあ、楽しい。修学旅行がいつもと違ってみんなと一緒に寝たり、楽しかった。

◎好きな勉強は？…体育は好き。

◎好きなことは？…スマホが好き。

◎中学校でやりたいことある？…

友だちを作る。日本語、もっと上手になりたい。国語、算数、、全部頑張りたい。

◎どこか行きたいところある？…

北海道。それから大阪。

高校生 男子 小さいときから日本で暮らしています。



「フィリピン(マニラ)の思い出」

島がたくさんあって海がきれいだった。フィリピンの親戚の家に泊まってタガログ語と英語で話した。誕生日をお祝いしてもらった。30人くらいで歌ったり踊ったりした。自分は歌ったり踊ったりしないけど楽しく過ごした。

お母さんのお友だちがケーキを作ってくれたり、バナナでトロンを作ってくれた。トロンはとてもおいしい。

ゲームも楽しかった。パン食い競争の代わりにお菓子をつるして食べるゲームをよくやった。フィリピンの人は、みんなで楽しむのが好き。みんなすぐ仲良くなる。

フィリピンは一年中夏なので半袖で過ごす。食事はスプーンやフォークを使い手で食べることも多い。

タクシーの代わりにトゥクトゥクに乗ることが多い。4人くらい乗れる。いろんな種類や色のトゥクトゥクがある。フィリピンは、車は右を走る。バスは後ろから乗り降りする。ジープニーという。いろんな絵や模様が(車体に)描いてある。

※彼は、中学校の時は宿題を持ってきていましたが高校生になってからはずっと英語の勉強を希望しています。きっとフィリピンで英語が話せるようになりたいのだなということが分かりました。



みんな楽しそうにやってくる子が多いのですが、子どもたちのことをもっとよく知りたいなと思います。願わくはどの子も自分のルーツを好きであってほしいと思います。日本人の友だちと遊んだり過ごしたりする話を聞くとうれしい気持ちになります。



FICECの生活相談の特徴と期待

～国際社会学の観点から行った外国人住民向け一元的相談窓口に関する研究報告～

出入国在留管理庁 宮寄恭平

筆者は令和5年度及び6年度、一橋大学大学院において、出入国在留管理庁（以下「入管庁」という。）の外国人受入環境整備交付金¹を活用した、外国人住民向け一元的相談窓口に関する研究を国際社会学等の観点から行い、その一環として特定非営利活動法人ふじみの国際交流センター（以下「FICEC」という。）を訪問させていただいた。そこで、本稿ではFICECの活動に着目しつつ、外国人住民の包摂について若干の考察を行ってみたい。なお、本稿はあくまでも筆者の私見であることをあらかじめ申し添えておく。

我が国の在留外国人数は、令和6年6月末現在で358万を超え、過去最高を更新したが²、そんな我が国における外国人の受入環境整備について「総合調整機能を持って司令塔的役割を果たす³」こととされている入管庁の「一元的相談窓口設置・運営ハンドブック⁴」によれば、外国人が日本で生活するに当たって、以下のような課題が存在する。

「外国人が日本で生活するに当たっては、文化や習慣の違いから、困難に直面することが多々あります。また、言葉の問題から、自分で調べたり、どこかに相談したりすることも容易ではありません。そのような課題に対応するために、在留外国人が在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速に到達することができるよう情報提供及び相談対応を多言語で行うワンストップ型の相談窓口の設置が求められています。」

入管庁は、地方公共団体がそのような機能を有する相談窓口を設置・運営する取組を、外国人受入環境整備交付金を通して財政的に支援し

ており、この交付金を活用した外国人向け相談窓口は「一元的相談窓口」と総称されている。



FICEC撮影・提供

移民の包摂について論じたPortes & Rumbaut (2024)⁵によれば、移民に最も関係する受入れ社会のコンテキスト（context of reception）には、①受入れ国の政策、②ホスト社会における労働市場及び③ホスト社会における移民と同じエスニックコミュニティの特徴があるとされる。これら各レベルにおいて移民が遭遇する、ポジティブな又はネガティブな経験の集合が、移民のホスト社会への「編入様式」（modes of incorporation）を決定するとされ、上記①から③の受入れ社会のコンテキスト（context of reception）により、移民個人による社会上昇に伴う限界を克服することが可能とされている。このように、編入様式としてのホスト国の政策は、移民の包摂に影響を与え、中でも移民統合政策は多様な領域で移民包摂に不可欠な存在といえるところ、我が国では、外国人との共生社会を実現するべく、同交付金により、地方自治体による外国人向け一元的相談窓口の設置・運営への支援が行われている。

さて、埼玉県ふじみ野市等から一元的相談窓口の設置・運営を受託しているFICECは、「多

文化が未来を拓く」というキーワードの下、「自立支援と多文化共生」をそのミッションとしている。特に特徴的な取組として、「NPO 法人フードバンク埼玉」の支援を受けて実施されている、生活に困窮する外国籍市民へのフードバンク事業の実施が挙げられる。配布の際には生活困窮者やひとり親家庭が優先されているところ、ハラル食品も相談可能であり、学用品や生活用品、野菜等の寄付も受け付けているほか、食品については、FICEC への来所が困難な場合には数日分の食品を箱詰めしての宅配サービスも実施するなど、手厚いサポートが行われている。ふじみ野市には「家族滞在」の在留資格で滞する外国籍市民が多いことから、母親や子どもの割合が他自治体と比較して高く、フードバンクを通じた食料支援については、食料の種類が豊富なこともあり、ニーズが大きいという。行政の手が届きにくい分野というものが存在する中、食品その他物資の直接供給という手法は、他自治体にとっても参考になり得る事業といえよう。同時に、フードバンクを通じて来所のための間口を広げることは、生活相談や日本語教室の利用等の各事業の利用頻度が増えることにもつながる可能性があると考えられる。筆者はFICEC 訪問時、親近感を覚えやすい外観・内装であるとの心証を抱き、職員の方が語っていた「ここに行けばこの人に会えるという安心感」の存在も強く感じることであった。筆者訪問時には日本語教室が開催されていたのだが、ボランティアと学習者が所狭しと机を並べ、活発に学習している姿が印象的であったと同時に、関係者によるコネクションを活用したフードバンク事業に新鮮な驚きを感じた。学校現場では教員の加配に限界が存在し、職場でも生活に直結するような支援が必ずしも受けられる訳ではない中、家や学校、職場ではカバーしきれない多様な領域において子どもから大人まで幅広く支える、言わば「サードプレイス」としての間口の広さは、FICEC の強みではないだろうか。一

方、女性の社会進出や企業・学校における定年延長等により、新規に活動に参画するスタッフの確保は必ずしも容易でないとの声も聞き、受入れ社会側の多様なアクターの重要性を改めて痛感した。最後に、筆者の修士論文執筆の際に御協力を賜ったこと、改めて御礼申し上げると共に、FICEC による各種事業の益々の発展を願っている。

1. https://www.moj.go.jp/isa/support/coexistence/nyuukokukan/ri02_00039.html
2. https://www.moj.go.jp/isa/publications/press/13_00047.html
3. https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/cabinet/honebut/o/2018/2018_basicpolicies_ja.pdf
4. <https://www.moj.go.jp/isa/content/001359743.pdf>
5. Alejandro Portes and Rubén G. Rumbaut, 2024, "Immigrant America: A Portrait," Oakland, University of California Press



FICEC撮影・提供



FICEC撮影・提供



一緒に成長できるように頑張っていきます

伊藤 道子

今年の1月より事務局を担当している伊藤道子です。これまで旅行代理店やメーカーの事務の仕事をしていました。また以前は転勤で岐阜や大阪にも住んでいましたが、どちらの土地でも良い友達に恵まれて私の人生の中で大きな財産となっています。

趣味はジムに通うことです。ヨガやピラティス、ZUMBA、ストロングネーションが好きで体を動かすことで心身ともにリフレッシュしています。また、愛犬のトイプードルに日々癒やされています。

特技は手話と帽子作りです。ふじみ野市の講習会に4年程通い、今でも忘れないように時々使うよう心掛けています。季節に合わせてオリジナルの帽子を作ることも楽しみです。

ふじみの交流センターのことは以前から知っていたものの、その時は自分がお手伝いをするようになるとは思っていませんでした。

お世話になってまだ数カ月しか経っていないのですが、これまで知らない街でたくさんの方に助けられた経験を、今度は相談にきた方々に少しでもお返し出来れば嬉しいです。

皆さまとは事務所の受付や電話でお話する機会が多いかと思います。その際はお気軽にお声掛け下さい。

一緒にお仕事で成長できるよう頑張っていきますので、ご指導よろしくお願いいたします。



「自分の好きなことをもう一度やってみよう」

後藤 深雪

20代の頃、沢木耕太郎の『深夜特急』や蔵前仁一の『旅行人』に影響を受け、バックパッカーとして旅することに憧れていました。ザックを背負い、安宿に泊まり、屋台で現地の人とふれあう旅が好きでした。

しかし、30歳で結婚し退職、双子の娘と息子を育てる日々が始まり、旅や外国は遠い存在になっていました。昨年、娘たちは就職し、息子も一人暮らしを始めたことで、急に子育てが終わり、寂しさと虚しさを感じました。

そんな時、「自分の好きなことをもう一度やってみよう」と思い、FICECの日本語ボランティア募集を見つけ、すぐに応募しました。英語もできず特別なスキルもない私でしたが、思い切って飛び込んでみて本当によかったと思っています。

さまざまな国の方々と関わることは新鮮で、学ぶ

ことが多く、毎日が刺激的です。学習者の皆さんは、それぞれ生活や就労、資格取得などの目的を持ち、日本語と共に日常の悩みや課題とも向き合っています。より深く関わるために、語学だけでなく文化や制度の理解も必要だと感じています。

誰もが思いやりを持ち、安心して暮らせる社会の一助となるよう、これからも目の前の一人ひとりと丁寧に関わっていきたいです。



お知らせ

多言語の生活情報誌「インフォメーションふじみの」Web版発行



1998年のFICEC設立から中心事業として発行し続けてきました「インフォメーションふじみの」の紙版での発行を終了いたします。

268号からはホームページへの掲載（WEB版）として発行します。これによりタイムリーでより多くの方への情報提供を行うつもりです。引き続きご購入をお願いいたします。

ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

マンスリーサポーター募集中!!

在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみならず、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターになってください。

一人でも多くの方々の支援をいただくことでFICECの事業を継続して行くことができます。

◎マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-2 5

ふじみの国際交流センター マンスリーサポート係

電話 049-256-4290 または 049-269-6450 FAX 049-256-4291



②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。

③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。

④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

◎スポットサポーター募集(不定期、または一回のみのサポート)

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、

口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)

または、現金書留でお願いいたします。



FICECの活動をご支援ください 会員・賛助会員・寄付のご案内

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関誌をお送りします

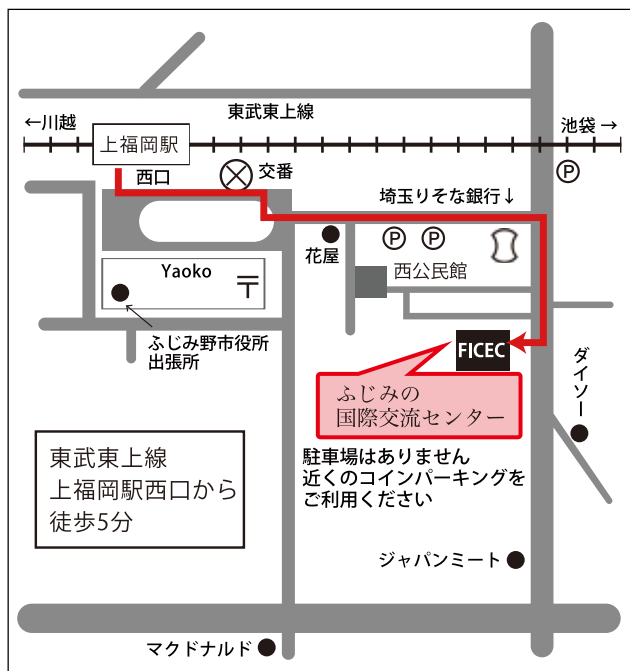
郵便振替口座: 00110-0-369511
口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

外国人生活相談 無料

月曜日～金曜日 10:00～16:00
電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら
FICECをご紹介します。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人

ふじみの国際交流センター

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25
TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291
生活相談専用電話 049-269-6450

ご寄付をいただいた方々 ご支援ありがとうございます

●2024年4月1日～2025年3月31日(敬称略)

穴沢エミリン、新井順子、新井良司、安銀柱、飯島美穂、石井絆、石山達也、伊藤愛、伊藤正子、上島直美、江釣子孝一、大野渉、岡本直久、小熊千寿子、折橋美義、柏木ひろみ、片倉ミン、(株)吉岡、神田順子、北林ジャネット、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、栗嶋三千代、栗田吉雄、木場ひろみ、小林曉美、小林和恵、酒井有香、佐藤義治、芝山喜巳子、島田敏郎、島原亜里、ジャリアヌソルン・ジェット、進洸子、ゾシスザン、高橋博、高橋真梨子、竹名潤一、チンテイヴァン、塚本秀樹、戸塚威子、豊枝洋子、内藤忍、ハオヤンリ、長谷川正江、藤井みどり、藤澤園子、藤巻則幸、水野毅、茂木久美子、森田有美子、矢澤美紀、山畑博子、吉井ジュリエッタ、吉田憲郎、和田弘、匿名2名

〈マンスリーサポーター〉

遠藤慧子、太田政男、小林久美、末吉智子、仲野京子、野田恭三、吉野高章

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センター サービス案内 (詳しくはお問い合わせください)		
外国人 ゲスト派遣	国際理解教育	3,000円+事務費+税
	外国料理教室	5,000円(材料費別途)+税
講師派遣	多文化共生講座	20,000円+税
	ボランティア講座	(活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書等	A4 3,000円/ページ+税
通訳	半日6,000円+税	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日+税

※別途交通費がかかる場合があります